

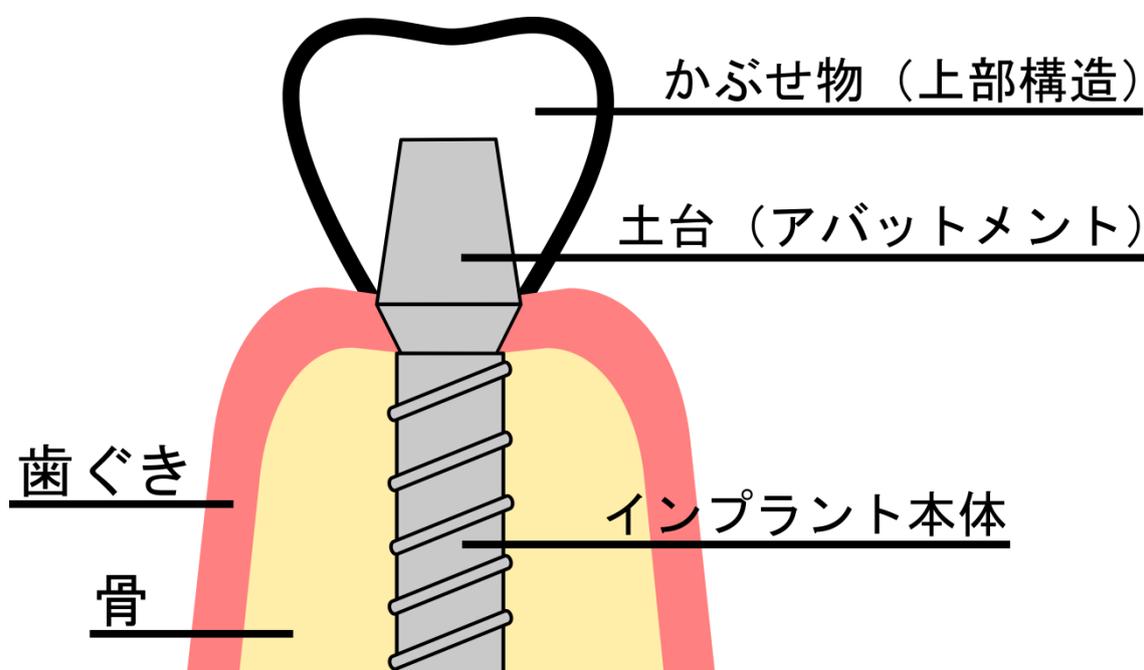
インプラントをお考えの皆様へ

虫歯や歯周病、事故などで歯を失ってしまった場合、保険適用の【ブリッジ】【入れ歯】以外に自費診療の【インプラント】の選択肢があります。

インプラントって何ですか？

インプラント治療とは、インプラント体を骨に埋入し、かぶせ物を装着することで、ご自分の歯と同じような見栄え、機能が得られるようになります。

インプラントは、下の図のように インプラント本体+土台+かぶせ物 の3つの構造で出来ています。



インプラントに関するQ&A

治療の簡単な流れを教えてください

1. カウンセリング

最初にレントゲン撮影と口腔内検査をして、インプラント治療が可能なのかを判断させていただき、治療方針、費用、治療期間などをご説明させていただきます。

2. 精密検査

CT撮影を行います。3次元画像の情報を元に立体的にインプラント埋入手術のシュミレ

ーションをすることにより、より精密な治療計画を立てていきます。

3. インプラント埋入手術

インプラント本体の埋入手術を行います。

4. 人工歯（冠）の作製

インプラントと骨が結合したら、人工の歯を取り付ける土台（アバットメント）を装着し、型をとります。人工の歯が出来上がれば、インプラントに接合して完成となります。

インプラント治療の通院期間はどれぐらいですか？

個々の症例によって異なります。インプラントを顎の骨に埋めてから、骨に結合するために、一定の期間が必要になります。最短で、下の歯は3～4ヶ月、上の歯で5～6ヶ月になります。

入れ歯・ブリッジ・インプラントの違いは何ですか？

	インプラント	ブリッジ	入れ歯
イメージ図			
治療方法	抜けた歯の骨の中にインプラントを埋め込む手術	抜けた歯の隣の健康な歯を削り支柱とし、そこに一体型の人工の歯を被せる治療法	人工歯のついた床を抜けた歯の部分に乗せ、残っている歯にバネ（クラスプ）をかけて安定させる治療法
歯の損傷	損傷なし	健康な歯を削る	継続的に顎の骨が吸収される
治療・寿命	3ヶ月～6ヶ月 (半永久的)	1ヶ月未満 (5～10年で交換)	1ヶ月～3ヶ月 (3～4年で修理・交換)

治療費用	高価	安価	安価
噛む力	35-40kg 天然歯とほぼ同じ	21-25kg	10-12kg

年齢制限はありますか？

未成年の方は、骨が成長段階にあるのでインプラント治療をすぐに行うことができません。身体の成長には個人差がございますので、ご相談させていただきます。上限は、ございません。当院では80歳以上の方でも受けられた方が多数おられます。

持病があっても受けられますか？

糖尿病や心臓病、肝臓疾患、高血圧症などの全身疾患がある方でも治療が可能な場合がございますので、主治医にご相談下さい。

金属アレルギーがあると治療は受けられないですか？

インプラントに使用する金属は、チタンです。基本チタンは金属アレルギーの出にくい金属ですが、心配な方は、治療開始前に皮膚科などでチタンのアレルギー検査（パッチテスト）を受診することをお勧めします。

インプラントはどれぐらい持ちますか？

10年後の残存率は、部分欠損の場合、上の歯が91%前後、下の歯が96%前後、無歯顎の場合、上の歯が80%前後、下の歯が97%前後になっております。

日々のメンテナンスをしっかりとしていれば、長期にわたって機能します。

痛くないですか？

インプラント埋入手術の際には、歯を抜いたり歯を削ったりする時に使用する局所麻酔を使用しますので、手術中痛みを感じることはありません。また、ご不安な方は、麻酔科医により、鎮静麻酔法を用いることで、楽に手術を受けることができます。（別途必要）

ただし、手術後麻酔の効き目が切れると、痛みを感じるがございますので、痛み止めを飲んでいただきます。痛みの感じ方は、個人差がございますので、詳しくは主治医にご相談下さい。

インプラント治療終了後に通院は必要なのでしょうか？

インプラントは天然歯ではないので、虫歯になることはありませんが、歯に汚れが付着したままの状態にしておくと、それらがプラークとなりインプラント周辺の歯肉に炎症が起り、最悪の場合インプラントが骨から抜け落ちてしまったり、取り除かなければならな

くなってしまう。ですので、治療後良好な状態を長期維持するために、定期的なメンテナンスは重要であることをご理解下さい。

インプラントのメリット・デメリットについて教えてください

◆メリット

健康な歯を削らなくてよい

自然な見た目

噛み合わせが良い

周りの歯への負担がかからない

骨が痩せるのを防げる

◆デメリット

手術が必要

治療期間が長い

他の治療に比べて費用がかかる